

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉版2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	桶川市坂田地区公共施設等整備事業	階数	地上2F
建設地	埼玉県桶川市坂田	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、法22条地域	平均居住人員	534人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,110時間/年(想定値)
建物用途	物販店、集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2018年3月9日
敷地面積	12,231 m ²	作成者	久保大輔
建築面積	5,391 m ²	確認日	2018年3月9日
延床面積	5,109 m ²	確認者	澤田徳男



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.5

項目	スコア
Q1 室内環境	2.2
Q2 サービス性能	3.2
Q3 室外環境(敷地内)	2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

項目	スコア
LR1 エネルギー	3.4
LR2 資源・マテリアル	2.5
LR3 敷地外環境	2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 住宅地内の計画の為、近隣住宅の環境に対して配慮した計画としました。建物を低層に計画することにより日影の影響を最小限にしました。また、敷地内には可能な限りの緑化を計画し、敷地周辺の環境そして地球温暖化対策について配慮しています。		その他
Q1 室内環境 昼光の確保、LED照明機器の採用、人感センサーの設置、建物の断熱化などを行い、室内環境の確立とエネルギーロスの少ない計画としました。	Q2 サービス性能 エントランス空間は天井高さを8メートル確保し、自然光を十分に取り入れる事が出来る計画としました。室内に緑化を行いぬくもりと心の安らぎを感じてもらえる空間としています。	Q3 室外環境(敷地内) 建物高さを最大で12m以下に抑えて、周囲を緑化することにより、街並みへの配慮を行っています。
LR1 エネルギー 外被において、断熱材による内断熱、ガラス面には複層ガラスを使用し、熱負荷抑制に配慮しています。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓の採用等を行い節水仕様とし、雨水貯留タンクを設置して植栽の散水利用などに利用する計画としています。また、エコ建材の仕様による環境配慮を実施します。	LR3 敷地外環境 敷地内の緑化、建物屋上緑化を行うことにより地球温暖化に配慮した計画としています。また、適切な台数の駐車場を設け、交通負荷の抑制に配慮しています。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
橋川市坂田地区公共施設等整備事業建設工事(A棟)

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
0 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境			0.40		-				2.2
1 音環境		3.0	0.15	-	-				3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-				
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	-	-				
2 界壁遮音性能		-	-	-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-				
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-				
2 温熱環境		1.4	0.35	-	-				1.4
2.1 室温制御		1.8	0.50	-	-				
1 室温		3.0	0.44	-	-				
2 外皮性能		1.0	0.20	-	-				
3 ゾーン別制御性		1.0	0.35	-	-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-				
3 光・視環境		2.7	0.25	-	-				2.7
3.1 昼光利用		2.4	0.41	-	-				
1 昼光率		1.0	0.27	-	-				
2 方位別開口		-	-	-	-				
3 昼光利用設備		3.0	0.73	-	-				
3.2 グレア対策		-	-	-	-				
1 昼光制御		-	-	-	-				
3.3 照度		3.0	0.09	-	-				
3.4 照明制御		3.0	0.50	-	-				
4 空気質環境		2.2	0.25	-	-				2.2
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-				
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-				
4.2 換気		1.0	0.30	-	-				
1 換気量		1.0	0.43	-	-				
2 自然換気性能		1.0	0.15	-	-				
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.43	-	-				
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-				
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-				
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-				
Q2 サービス性能			0.30	-	-				3.2
1 機能性		3.3	0.40	-	-				3.3
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-				
3 バリアフリー計画	市民が利用する施設であるのでバリアフリーに配慮する	4.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		2.8	0.30	-	-				
1 広さ感・景観		1.0	0.18	-	-				
2 リフレッシュスペース	休憩スペースを計画し訪れた人がくつろげる計画とした	4.0	0.18	-	-				
3 内装計画		3.0	0.63	-	-				
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-				3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水SUS・VP、排水VP、空調(ドレン管)VP(冷媒管)鋼管	4.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-				
3 電気設備	非常用自家発電設備、電源接続用配線を準備している	4.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性			3.2	0.30	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり			4.3	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	4.8m階高があり十分な天井懐がある	5.0	0.33	-	-	
2	空間の形状・自由さ	ラーメン構造であり、平面計画内にブレース等はない	4.0	0.67	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		1.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m = 0.78	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		エントランスホールにハイサイドライトを設置	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.83	2.8	0.50	-	-	2.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.5
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		ブース内に擬音装置、自動水栓を設置	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			1.9	0.20	-	-	1.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			1.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		1.0	0.50	-	-	
3	冷媒		2.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		排出率85%を達成	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な建物利用者の自転車(バイク)駐輪場と駐車台数を確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	橋川市坂田地区公共施設等整備事業建設工事(A棟)	BEE	0.7	BEEランク
------	--------------------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.6	+	1.6	=	5.2 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	3.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
建物の断熱を行い、建物屋上の緑化を行うことにより建物の断熱性能を向上させ、高効率の設備機器(空調設備、照明機器)を採用する取り組みにより、運用時のCO ₂ 排出量を低減させました。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
地域の特性を把握し、道路沿いに植栽を計画することにより潤いのある環境を創出する取り組みを行いました。			

: 入力欄